山形の未来へ、アクション！

山科とものり県政報告 Vol.6

発行日／平成26年2月吉日　発行／山科朝則事務所

山科朝則事務所 〒996-0033 新庄市下金沢町4番20号　TEL.0233-25-8778　FAX.0233-25-8777

予算特別委員会での質問

ごあいさつ

日頃より皆様には多くのご意見、ご指導を賜り、ありがとうございます。

国の新たなる経済政策の中心は、金融緩和、財政出動、成長戦略でありますが、地方ではその効果をまだ実感できずにおります。

少子高齢化社会の中で、地方がこの先も成り立つしくみを今つくらなければならない時です。

皆様のご意見をお聞きしながら、お預かりしている立場の中で、地域発展を最優先に職務にあたって参りますので、今後もよろしくお願い申し上げます。

山形県議会議員　山科　朝則

皆様のご意見をお寄せください。　山科とものりホームページ　http://www.yamashina.jp/

菅官房長官へ道路整備についての要望を行いました

早期実現に向けて「大きな前進」
東北中央自動車道 新庄以北整備

国の今年度予算で泉田道路以北の3区間が「計画段階評価に向けた調査区間」となりました。3区間とは、昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝こまちの各インターチェンジ間です。いずれも昭和62年から事業化の見通しが立っていない「予定路線」でしたが、今年度事業化が決まったことで福島県境から秋田県境まで県内約160キロメートルに及ぶ縦貫に道筋が見えてまいりました。この決定に至るまで長年にわたる地域の皆様、関係機関のご努力に感謝申し上げます。事業化は大きな前進ではありますが、高速道路は「つながってこそ」です。今後は、早期完成を目指して、地域の皆様の声を国や県に伝えてまいります。

（最上郡の市町村長の皆様と）

国土交通省　西脇総合政策局長へ要望を行いました。（西脇総合政策局長は以前山形県に出向されていた方です）

道路が整備されることのメリット

1. 災害時における大幅な迂回路の解消
2. 走行時の安全性・快適性の向上
3. 三次救急医療施設への速達制の向上
4. 走行時間の短縮・定時性の確保
5. 国道13号の交通渋滞が緩和
6. 地域産業の新規市場の開拓および物流の効率化
7. 広域観光の実現
8. 豪雪にも影響しない冬期の走行環境の改善

私の考え

新庄は古くから交通の要衝でありました。しかし、特に高速道路の整備については日本海沿岸東北自動車道、山形自動車道などに比べ遅れており、この間地域経済には多くの影響がありました。また、冬期間のう回路がないことからひとたび交通規制がなされると、通勤・通学、物流、さらには救急搬送といった面で困難を強いられてまいりました。さらに、東日本大震災以降は「命の道」として均衡ある道路整備が課題となりました。

新庄最上地域は、縦軸横軸共に高速道路整備が遅れています。縦軸である東北中央道の整備を1日も早く進めるとともに、横軸である新庄酒田道路、新庄石巻道路の整備についてもあらゆる方法で要望を続けてまいります。

現地調査・要望リポート

農林水産省 今井官房長と面談

今後の農政についてお話を伺いました。また、農業関係者の要望や、最上地域の農業振興についての要望をお伝えしました。（今井官房長は以前山形県に出向されていた方です）

厚生環境常任委員会

厚生環境常任委員会でドクターヘリの運用について調査しました。県立中央病院の担当者から現状と課題を伺いました。

厚生環境常任委員会

障害者自立就労支援施設「だんしエコ作業所」（高松市）

OA機器、遊技機のリサイクル事業を実施。環境問題改善、社会貢献の意識が仕事への励みと自信になっているとのことです。

※誌面の都合により要約してあります。この県政報告は、県議会議員に交付される政務調査費を活用し、作成しております。　山形県ホームページ http://www.pref.yamagata.jp/